

### Ⅲ 総括

#### 1 全体考察

##### ■回答者について

回答者の内訳をみると、男性が43.9%、女性が54.7%と、女性がやや多くなっています。年齢では60歳以上が4割を超えており、30歳未満は1割以下となっています。これらの傾向が、全体の回答結果にも影響しているものと考えられます。また、約7割の人が加古川市での居住年数が20年以上となっています。

職業については、「会社員、公務員」が約3割、「無職」が約2割となっています。通勤・通学している人のうち、通勤・通学先は5割弱が市内、残りが市外となっています。また、通勤・通学している人のうち、約5割が「自動車」を利用しています。

##### ■定住意向について

6割以上の人が、「現在の場所に住み続けたい」と回答しています。女性よりも男性の方が、若年者層よりも高齢者層の方が、定住意向が強い傾向が見られます。地区別でみると加古川西地区で定住意向が他地区よりもやや高く、逆に志方地区では定住意向が最も低くなっています。

定住意向がない人（市内での転居希望と市外への転居希望を含む）のうち、転居したい理由としては「買い物環境が充実していないから」や、「通勤・通学に不便だから」「景観・まちなみに魅力が少くないから」などがあげられています。性年代別でみると傾向が異なり、30歳代の男女では「子育て環境が充実していないから」が、60歳以上の男女では「買い物環境が充実していないから」などが、理由としてあげられています。地区別でも傾向は異なり、志方地区では「買い物環境が充実していないから」が9割、「医療環境が充実していないから」が7割となっています。

また、市外への転居を希望する人のうち、転居先としては「神戸市」が約3割、「明石市」が約2割となっています。女性では男性と比べて、「神戸市」や「大阪府」を希望する人が多くなっています。

##### ■満足度・重要度について

市の施策の満足度では、「下水道の整備」や「消防や救急・救命体制」「下水道の整備」などは評価が高いものの、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」「地域内の道路の安全性や便利さ」などで評価が低くなっています。

重要度では、「安心できる医療体制」や「介護保険など社会保障制度の適正な運用」「地域の防災体制」などが上位となっています。

重要度が高い一方で満足度が低い項目としては、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」「地域内の道路の安全性や便利さ」などがあげられます。

## ■防災対策・防犯対策について

防災対策として何の取組も行っていない人は4割、防犯対策として何の取組も行っていない人は約3割となっています。防災対策よりも防犯対策について、家庭での取組をしているという割合が高くなっています。

## ■市民活動の参加状況・参加意向について

市民活動に参加している人は、2割弱となっています。女性より男性の方が、若年層より高齢者層の方が、参加している人が多い傾向がみられます。地区別でみると、両荘地区では参加している人が3割弱と、他地区と比べて最も高くなっています。

今後の参加意向がある人（「ぜひ、参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計）は約5割となっており、現在参加していない人の中にも、参加意向のある人がいることが分かります。また、男性よりも女性の方が参加意向のある人が多く、性年代別でみると男性では60歳以上で参加意向が他の年代よりも高く、女性では40～49歳で参加意向が最も高くなっています。

## ■ごみのポイ捨てについて

ごみのポイ捨てについて、2割弱の人が毎日見かけると回答しています。頻度にかかわらずポイ捨てを見かけると回答した人（「全く見かけない」と「ほとんど見かけない」「不明・無回答」を除いた割合）は、約7割となっています。地区別でみると、浜の宮地区では毎日見かけると回答した人が他地区と比較して最も高くなっています。また、平岡地区では、頻度にかかわらずポイ捨てを見かけると回答した人が、他地区と比べて最も高くなっています。

ごみのポイ捨てについて不満を感じている人は7割を超えており、男性より女性の方が、不満を感じている人の割合が高くなっています。地区別では、両荘地区で不満を感じている人が約8割と、他地区と比べて最も高くなっています。

ごみをよく見かける場所としては「道路」が、よく見かけるごみとしては「タバコの吸い殻」が、それぞれ最も高くなっています。

## ■ペットのふん害について

ペットのふんについて、約1割の人が毎日見かけると回答しています。頻度にかかわらず、ふんを見かけると回答した人（「全く見かけない」と「ほとんど見かけない」「不明・無回答」を除いた割合）は、約5割となっています。地区別でみると、加古川地区と浜の宮地区では、毎日見かけると回答した人が約1割と、他地区と比べて高くなっています。また、浜の宮地区では、頻度にかかわらず、ふんを見かけると回答した人が、他地区と比べて最も高くなっています。

ごみのポイ捨てについて不満を感じている人は約6割となっており、男女間の差は、ほぼみられません。地区別では、野口地区で不満を感じている人が7割弱と、他地区と比べて最も高くなっています。

ふんをよく見かける場所としては「道路」が、最も高くなっています。また、自由意見ではペットに限らず、野良猫のふん害を指摘する声もありました。

## ■市政に関する情報や「広報かこがわ」「加古川市のホームページについて」

市政に関する情報については、9割弱の人が「広報かこがわ」から入手していると回答しています。「町内会の回覧など」という回答も多く、男性で約5割。女性で約6割となっています。

広報かこがわについて、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合は約8割で、男性よりも女性の方が高くなっています。一方で、20～29歳の男性で約4割、18・19歳の女性で4割を超える人が、「読んだことがない」と回答しています。

市のホームページについては、「見たことがない」と回答した人が約4割と、最も高くなっています。男性よりも女性の方が、「見たことがない」の割合が高くなっています。また、男女とも若年層と70歳以上で、「見たことがない」の割合が高くなる傾向が見られます。地区別でみると、両荘地区で「見たことがない」が5割と、他地区と比べて最も高くなっています。

## ■市や居住地域に対する誇りや愛着の程度について

市や居住地区に対する誇りや愛着を感じている人（「強く感じている」と「感じている」の合計）は、6割を超えています。一方、誇りや愛着を感じていないと回答した人（「感じていない」と「あまり感じていない」の合計）が、30歳代の男性で約4割、18・19歳の女性で4割を超え、他の性年代と比べて高くなっています。

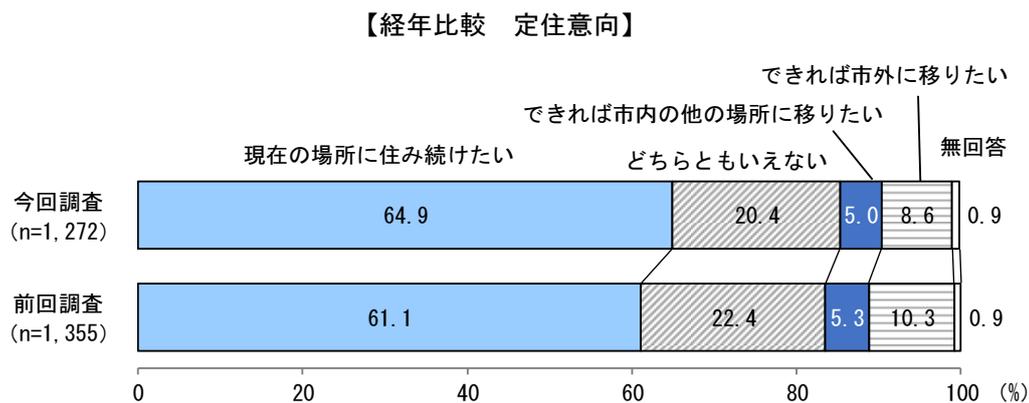
地区別でみると、野口地区で誇りや愛着を感じている人が約7割と、他地区と比べて最も高くなっています。

## 2 経年比較

アンケート結果の分析において、前回調査の結果との差異がみられた項目について、考察をまとめます。

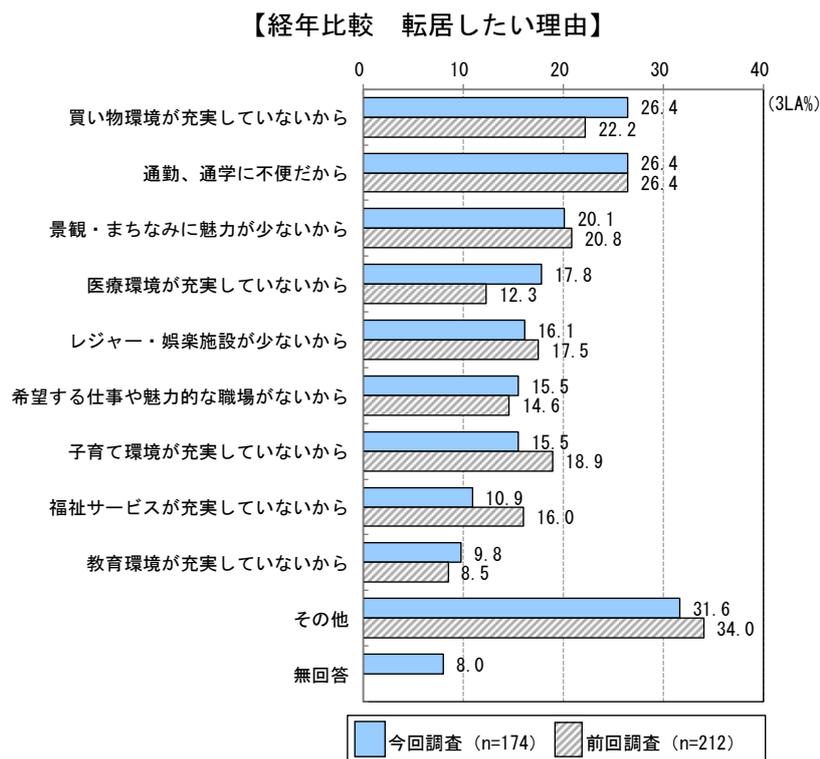
### ■定住意向について

前回調査と比べて、「現在の場所に住み続けたい」が3.8ポイント増加しています。「できれば市内の他の場所に移りたい」が0.3ポイント、「できれば市外に移りたい」が1.7ポイント、それぞれ減少しています。



### ■転居したい理由について

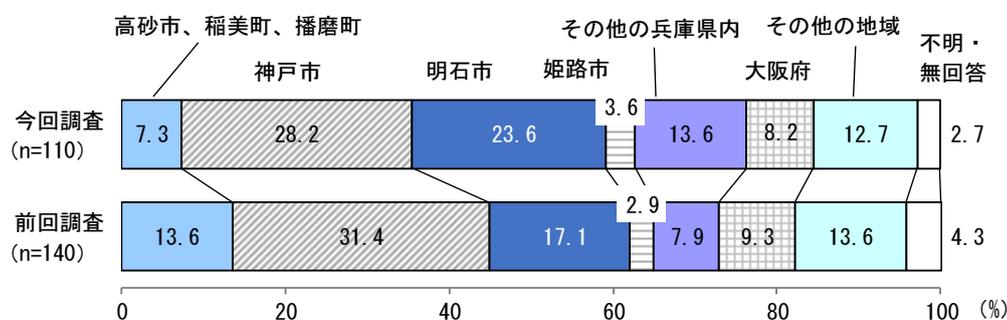
前回調査と比べて、「買い物環境が充実していないから」が4.2ポイント、「医療環境が充実していないから」が5.5ポイント、それぞれ増加しています。



## ■市外で移り住みたい場所について

前回調査と比べて、「明石市」が6.5ポイント、「その他の兵庫県内」が5.7ポイント、それぞれ増加しています。

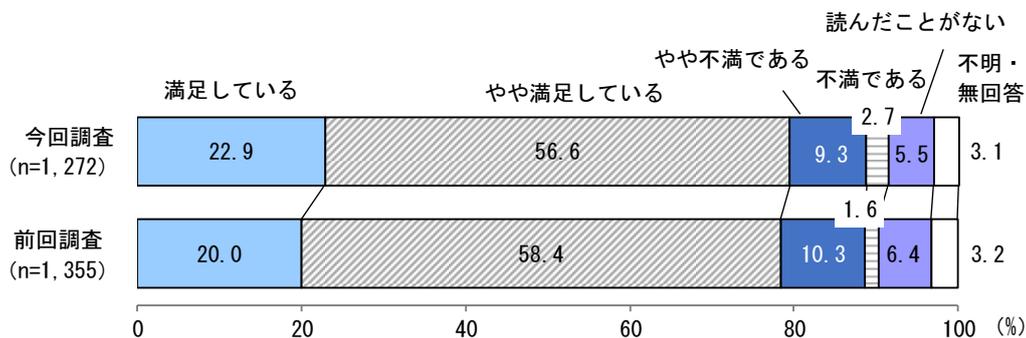
【経年比較 市外で移り住みたい場所】



## ■「広報かこがわ」の満足度について

前回調査と比べて、「満足している」と「やや満足している」を足した割合は、1.1ポイント減少しています。

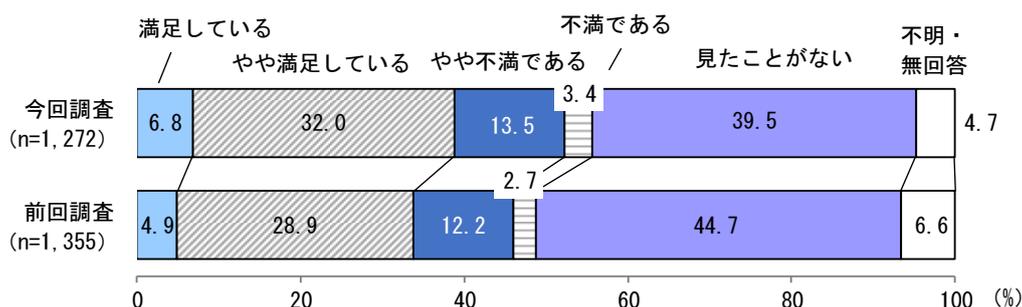
【「広報かこがわ」の満足度】



## ■「加古川市のホームページ」の満足度について

前回調査と比べて、「満足している」と「やや満足している」を足した割合は、5.0ポイント増加しています。

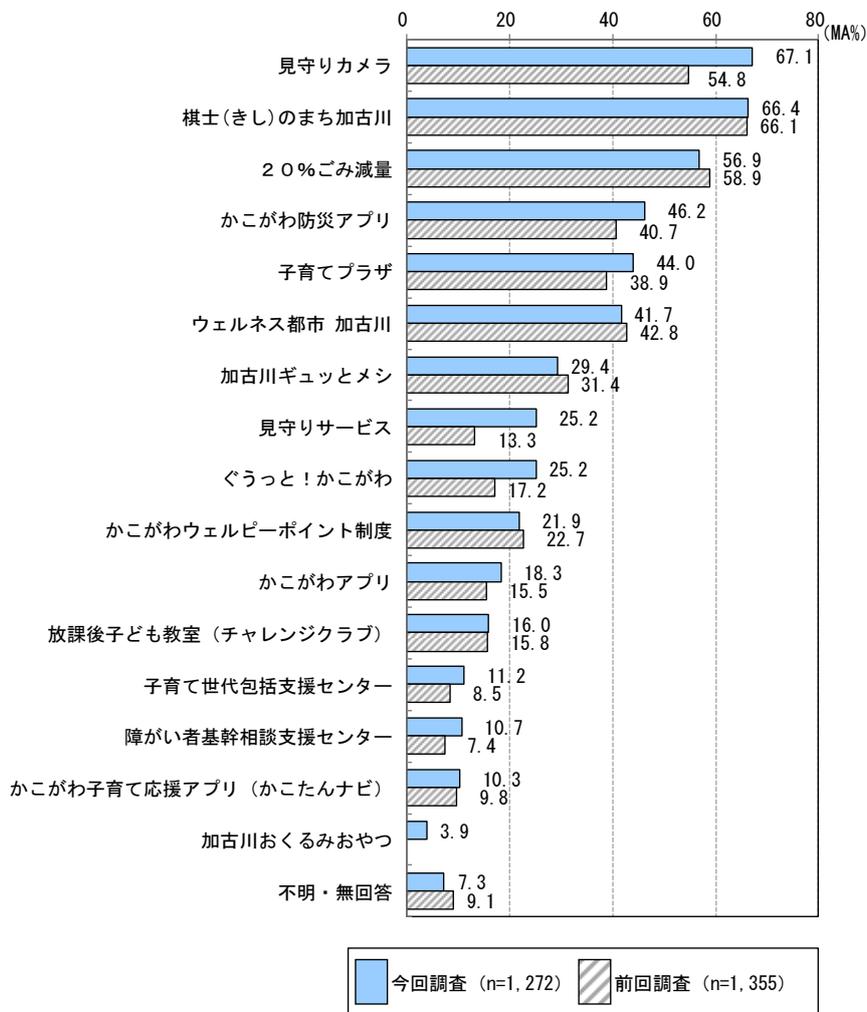
【経年比較 「加古川市のホームページ」の満足度】



## ■加古川市の取組等の認知度について

前回調査と比べて、「見守りカメラ」が12.3ポイント、「かこがわ防災アプリ」が5.5ポイント、「子育てプラザ」が5.1ポイント、「見守りサービス」が11.9ポイント、「ぐうっと！かこがわ」が8.0ポイント、それぞれ増加しています。（「加古川おくるみおやつ」は、前回調査の選択肢になし）

【経年比較 加古川市の取組等の認知度】



## ■郷土愛の意識について

前回調査と比べて、「強く感じている」と「感じている」を足した割合は、1.8ポイント増加しています。

【経年比較 郷土愛の意識】

